

●簡易水道事業特別会計
当初予算

予算総額は4億4032万6千円です。昨年より5560万7千円減となっています。

主な内容は、22年度に引き続き、早蘇簡易水道施設統合整備に要する経費1億352万4千円、その他配水管移設工事関連で5078万円を計上しています。

(賛成全員)

●下水道事業特別会計
初予算

予算総額は2億8384万2千円です。昨年より588万6千円増となっています。

維持管理に要する経費等のほか、下水道管移設補償関連経費を計上しています。

(賛成全員)

●川上財産区特別会計
初予算

予算総額は46万1千円です。
財産区の管理に要する

事務経費等を計上しています。

(賛成全員)

●寒川財産区特別会計
初予算

予算総額は66万円です。財産区の管理に要する事務経費等を計上しています。

(賛成全員)

●副町長の選任

旧町村意識にとらわれず、地域を超越した感覚での行政を推進し、地方自治行政の強化と充実を図り、町長がめざす民間感覚での行政運営をさらに進めていくために、県職員である松尾孝志氏を副町長に選任するものです。

(全員同意)



第1回臨時会



こんな

問答

ありました。

住民に光をそそぐ基金
条例の制定について

問 光が十分にあてられなかった分野とはどんなものがあるのか。

答 消費者相談、自殺対策、図書室の充実などとなっている。

問 バイオセンターの給与費は光のあたっていない分野と言えるのか。

答 「知の地域づくり」として、研究の契機になればと考えている。

22年度一般会計補正予算(第5号)について

問 美山中、早蘇中、川辺西小、中津小の普通

教室に空調設備を整備するようだが、今後、他の学校への空調整備は計画しないのか。

答 すでに、丹生中、中津中は整備している。あと小学校の小規模校が残っている。教室の使い方が複雑になっており、検討を要する。

問 公民館図書管理システムとは、3カ所の公民館の図書を全て管理できるのか。外部のパソコンから新しい図書の情報がアクセスできるものか。

答 3つの公民館に業務端末とレシートプリンタを設置する。3つの公民館で借りた本なら、3つの公民館のどこへでも

返すことができる。蔵書や貸し出しの情報

も各公民館で見られる。

ただ、外部のパソコンからの直接予約については問題も想定されるので実施は未定だ。

問 子宮頸ガン予防接種はどの年齢が対象か。

答 国の基準で対象が中学校1年生から高校1



川辺公民館

年生までとなっている。23年度接種となると高校1年生は進級してしまふので、希望があれば対応する。その分も含んで対象者48名分を計上した。

問 国体開催により、アーチェリー教室をする

ようだが、継続的に開催するののか。

答 アーチェリー協会の助成を得て、23年以降も教育委員会とタイアップして実施していく。

問 中津産品販売所を1300万円で改修するがその内容は。

答 販売コーナーが手狭になっているのと花木コーナーが人目につきにくい所になっている。今の事務所を移動して、売り場面積を確保し、改善したい。

問 新しく購入する消防ポンプ車の配備先はどこか。

答 第1分団第3班中津川車庫へ配備している消防車を廃車し、本部の

ポンプ車を回す。今回購入するポンプ車を本部へ配備する。

問 給水車を購入するが、すでに1台保有しているはずだ。どのように活用するののか。

答 美山支所管内に給水車を1台保有している。今回新たに1台購入して、川辺・中津管内での緊急時給水活動への充実に図りたい。

地元管理の飲料水給水施設への漏水時の給水、水道破損時の給水活動、あるいは、自家発電設備のない小規模な加圧ポンプ施設における停電時の給水活動等に活用したい。

問 美山中学校体育館の改修には9千万円ほど要すると試算されていたが、今回の3千万円で十分改修できるののか。

答 国の大規模改修の事業採択を前提として、床・雨漏りに伴う屋根・窓枠・外壁の改修、地盤沈下の解消などで9千万

円を見積った。今回、緊急に対応しなければならぬところをピックアップして、3千万円の予算で対応する。



テニス公園

円を見積った。

今回、緊急に対応しなければならぬところをピックアップして、3千万円の予算で対応する。

問 テニス公園を3千万円で改修する。その内容は。

答 テニス公園の人工芝が傷んでいる。16面の人工芝の修復と、4面の人工芝化を検討している。



第1回定例会

へき地保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 22年度から25年度にかけて寒川保育園の保育料を他の3保育所の保育料に統一していくものだが、保育内容の調整はしていくののか。

答 寒川保育園では3歳未満児保育と延長保育が実施できていない。実施するとなれば保育士を雇わなければならない。検討していく。

国民健康保険税条例の一部改正について

問 川辺地区と中津・美山地区で国保税が1人あたり2万円近くの差がある。中津・美山地区の国保運営で出てきた基金を全額使って、負担軽減を講じるべきでは。

答 基金を枯渇した状態

で運営するのは苦しい面がある。医療費は予測が立たない。

税の抑制のために毎年3千万円ほど基金を投入してきて、結果的には500〜600万円で済んできた経緯がある。

公の施設に係る指定管理者の指定について

問 ふるさと振興公社への指定管理を1年間延長し、その間に民間業者に指定管理を移行するようだが、この1年間どうするののか。

答 4月から1ヵ月ほど公募したい。業者からのプレゼンを受けて、執行部で検討し、議会全員協議会に諮り、最終的には公社の役員会で内定していきたい。

6月の定例議会で再度指定管理に係る提案をして承認を受けることになり。7月1日を目途にスタートしたい。

6月の定例議会で再度指定管理に係る提案をして承認を受けることになり。7月1日を目途にスタートしたい。

問 22年度一般会計補正予算(第6号)について

答 下水道整備基金積立金181万4千円を23年度の事業原資とするようだが、22年度の補助金を翌年度に繰り越せるのか。

答 22年度の合併浄化槽整備を55基予定していたが、15基であった。

問 国から、22、24年度の3年間で充当してよいとの連絡があった。基金に積み立て、23年度は補助申請せず事業に充当する。

問 なかつ学童クラブ施設改修工事で600万円の減額がされている。理由は。

答 入札の結果、減額された。

問 23年度一般会計当初予算について

問 長期総合計画の後期基本計画策定の費用が委託料として計上されているが、その中身は。

答 住民の意向調査から分析までを250万円で委託したい。

問 地籍調査費が昨年より減っているがなぜか増やせないか。

答 地籍調査事業は31年度までの10ヵ年計画であり、年度により対象となる土地の諸条件が変動し、多い年もあれば少ない年もある。

問 予算確保は年々難しい状況である。

問 「元気な集落づくり推進事業助成金」の説明を。

答 過疎地域における住民自らの行動・取り組みを促す部分への助成も必要と考え、100万円計上している。

問 新規計上の携帯電話施設費の説明を。

答 全て完成した基地局・伝送路は町施設となり、維持管理経費を計上した。今後も年間約900万円が町の負担となってくる。

問 てすり設置事業助成金の計上根拠は。

答 規模的に10〜20万円で20〜40ヵ所の設置を考えている。地元からの要望により設置する。

問 数多く保有しているコピー機のリース料について、コスト削減が図られているのか。

答 コピー機だけでなく、事務機器から車両まで、統合的な管理と業者との交渉により、経費節減をしていく。

問 特別職に係る費用弁償の復活は予算にどう反映されているのか。

答 検討中なので予算には反映させていない。

問 事業仕分け結果は当初予算に反映されているのか。

答 町単独の助成金が事業仕分けの対象になっており、予算査定の中で仕分け結果を反映させた。

問 借地料について、見直しの方針は反映されているのか。

答 検討中であり、今年度は反映されていないが、ここ3年の内に見直したい。

問 3ヵ年計画の過疎集落再生・活性対策事業について説明を。

答 モデル地区として寒川地区を設定し、過疎地域の活性化につなげる事業である。3ヵ年で1

千万円の県費助成がある事業であり、まず23年度は団体への助成を中心に行う。

問 集落間の道路照明のLED化は。

答 防犯灯の設置事業で、平成23年度から蛍光灯をLEDに順次取り替えていきたい。

問 高齢者への温泉利用券配布の廃止はなぜか。

答 福祉政策として無料券を配布してきたが、利用率が2割まで落ちたため廃止する。

ただし、無料入浴サービスは継続する方向で検討したい。

問 都市からの移住における空き家不足に対する取り組みは。

答 ゆめ倶楽部21を中心に空き家の情報収集をおこなっている。広報・ZTV等での啓発にも努める。

問 集団廃品回収は、町のゴミ分別に貢献している活動だ。助成金を引き上げてはどうか。

答 合併後、1kg当たりの単価を上げた。今しばらくはこの金額で推移させたい。

問 健診で力を入れたところは何か。

答 ヒブワクチン、肺炎球菌に加えて、子宮頸ガンの予防接種を促進する。



LED化された道路照明

肝炎ウイルスの検査を40歳から60歳まで5歳刻みに拡大して実施する。

結核、肺ガンのレントゲン検査を川辺地域でも巡回して実施する。

問 鳥獣害対策の84基の捕獲オリは町が一括して購入するのか。町内で製作されたオリは購入しないのか。

答 できるだけ農家で簡単に組み立てられるものを何十基か購入したい。

町内で製作するオリも対象としたい。

問 ジビエ推進費は肉の売上げ額に比べて高額の予算が計上されているがなぜか。

答 肉の販売とあわせて、加工品づくりに取り組むたい。ハムやコロッケなどの開発もしていきたい。

問 木質パウダーの原料となる木質資源の活用交付金の利用が上っていないのはなぜか。

答 搬出コストの検証に現在取り組んでいる。結果をもとに、住民参加型の資源活用を再度検討をする。

問 町道に広い歩道を付ける必要があるのか。費用対効果の観点から町内道路の見直しはできないか。

答 歩道は、災害時の緊急避難、通学路として、安全安心な通行のため、学校関係者や地域住民の要望で設置している。道路の見直しについては、住民の利便性や将来を見据え総合的に判断をする。

問 町営住宅の入居者退去の際、修繕費はどうなっているのか。

答 障子等の消耗品的なものは退去者が負担をする。それぞれの物件について細かく規定されている。

問 防災士の受講料についてどの程度町として補助するつもりなのか。受講料、認証料で

1万円の負担となる。半額の5千円を助成する。

問 特別支援介助員措置は十分と考えるか。

答 学校の状況を見ながら、配置をしていく。

問 東日本大震災で歳入が変つてくると思うが、特別交付税が災害対応で減額されるだろう。他の部分は現時点では予想しにくい。

答 耐震化のための老朽管の敷設替えだが、工事区域と総延長は、中津川・三百瀬・小熊・和佐地区において実施。延長は185kmである。

23年度簡易水道事業特別会計予算について

問 耐震化のための老朽管の敷設替えだが、工事区域と総延長は、中津川・三百瀬・小熊・和佐地区において実施。延長は185kmである。

23年度国民健康保険特別会計予算について

問 川辺町国保と日高川町国保の税を2年間で統一していくが、税負担の抑制のため、一般会計からの繰り入れは

考えているか。

答 医療費の動向もあり、25年度の予測がつきにくい。その時点で判断をする。

23年度川上診療所特別会計について

問 看護師の賃金を計上しているが、新しいワクチン接種等も診療所で実施することも

答 今回、特に3つの新しいワクチン接種等も診療所で実施することも

23年度介護保険事業特別会計について

問 県の財政安定化基金貸付金を借り入れている。これは、後年度の保険料に跳ね返ってくるものか。

答 町に介護給付費を賄うだけの財源がないと

いうことで借入している。無利子で次期3年償還という仕組みだ。来期の保険料に210円上乘せされる。

問 介護老人施設が増床されている。待機者の推移はどうなるのか。

答 管内では22年度で100床増床となる。約500人いる待機者のうち、町では約60人である。全て解消とはならない。

問 グループホームが少ないのではないか。

答 本町には2年前障害者のグループホームが地域の協力でできている。日高町にも新たに認知症のグループホームができた。

民間主導的だが徐々に充実しつつある。

問 認知症の早期発見が重要と言われているが、取り組むべきでは。

答 ほとんどがアルツハイマーだが早期発見は難しい。

川上診療所



川上診療所